

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成24年3月22日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	北二地区急傾斜地崩壊対策事業	地区名	福知山市大江町北有路		
概算事業費	1.5億円	事業期間	平成24年度～平成26年度		
事業概要	擁壁工、法面工				
目指すべき環境像	北有路地区は、由良川筋から綾部へと向かう街道の分岐点にあたり、従来から丹後と丹波を結ぶ水陸交通の要衝として発展してきた地域である。 当該箇所は、土砂災害警戒区域等に指定されており、広域避難所である大雲記念館の背後斜面は急傾斜であるため、森林や溪流などの自然環境の保全に配慮しつつ、避難者の人命を守る対策を行う必要がある。				
関連する公共事業	特になし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	斜面には広葉樹や竹林が生育しているが、斜面中には植生が荒廃している箇所や、転石・浮石が確認され、危険な状態である。 このため、既存植生を生かしつつ斜面崩壊や転石の落下に対処する施設計画を行う必要がある。	土砂災害を防止する目的や構造上の基準に合致する範囲で、極力、法面掘削による地形の改変が発生しないよう、法面工等の施設を、計画的に配置するよう検討する。		
	地形・地質			○	3
	物質循環(土砂移動)			○	4
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	急傾斜地崩壊防止施設が大雲記念館や大雲塾舎(研修施設等)と近接することから、施工時における騒音・振動・粉じんに留意する必要がある。 また、建設発生材を極力リサイクルする必要がある。	工事施工中は、低騒音、低振動、低排出ガス型の機械を使用することを原則とする。 工事の時間帯については、施設と協議し、施設の生活環境に支障を来さないよう配慮する。 また、建設発生材は当該工事や近隣の公共工事や民間工事と調整し、再利用に努める		
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等			○	3
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	豊かな自然が残る由良川を、再び恵みの川として再生させるための拠点として、「あしぎぬ大雲の里」が整備されており、地域住民との協働、施設の調和を図る必要がある。	掘削に伴う法面の植生工については、周辺の自然環境に調和した在来種を使用した工法を検討する。 地域協働では、地域住民の防災意識向上を図るとともに、住民意見を反映した施設計画を進める。	3	
	里山の保全				
	地域の文化資産			○	4
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働			○	4
その他					
外部評価					